

## 1. 3月以降の気象経過(図1)

### <3月>

上旬～中旬:気温が高く日照時間も長くなった。

下旬:気温が低く、日照時間も少なくなった。

1ヶ月を通して気温が高く、月平均気温は平年差+1.6℃でした。しかし、3月末頃は平年を下回る寒さとなりました。日照時間は3月中旬が平年比119%と多くなりましたが、下旬は94%と少なくなりました。降水量は3月中旬は平年比140%でした。また、3月30日と31日に降雪が見られました。

### <4月上旬> 気温は高く、降水量は少ない

気温は平年差+3.2℃と高くなり、日照時間も115%と多くなりました。一方で降水量は平年よりも少なく平年比66%でした。

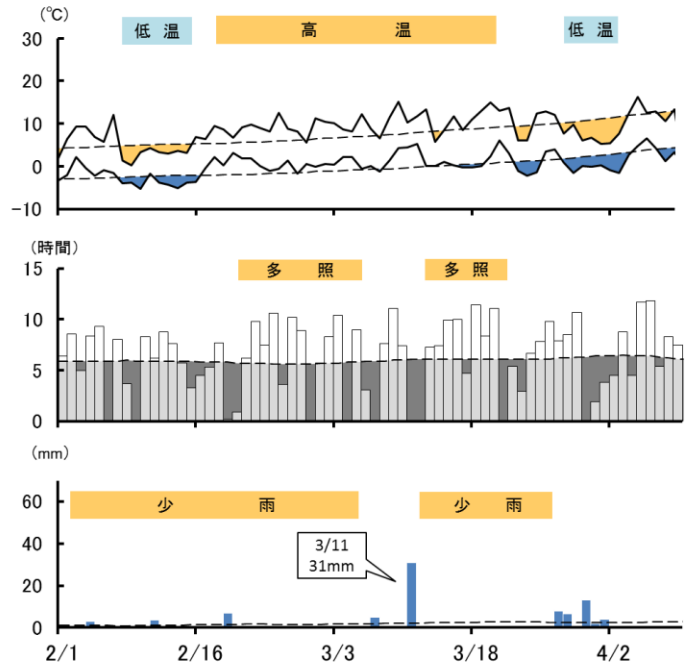


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量  
※点線は平年値

## 2. 生育調査ほの生育状況 (4月8日現在, 表1, 下写真)

- ◆ 草丈は桃生のシュンライを除いて平年よりも短くなっています。
- ◆ 茎数は全体的に平年並～多くなっています。
- ◆ 幼穂長は全体的に平年よりも短くなっています。3月下旬から4月上旬の低温と日照不足の影響によるものと推測されます。

表1 生育調査ほにおける4月8日付け調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	新田 (桃生)	10/20	-8	-2	27.8	+9	+1	1218	281%	247%	6.3	+1	-5
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/19	-14	-4	21.0	+6	-4	750	437%	153%	3.9	+1	-3
	真野 (石巻)	10/26	+7	+3	22.8	-3	-4	600	127%	105%	6.7	+1	-3
ホワイトファイバー	高木 (石巻)	10/20	/	/	24.1	/	/	649	/	/	9.7	/	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/01	-12	+8	17.7	+1	-5	946	241%	99%	1.5	+0	-1
	樫崎 (桃生)	10/26	-11	/	22.3	+5	/	1409	171%	/	1.7	+0	/

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 高木ホワイトファイバー調査ほは調査1年目、樫崎シラネコムギ調査ほは、調査4年目のため平年差・比は記載しない



シュンライ(新田)



ミノリムギ(高須賀)



ミノリムギ(真野)



ホワイトファイバー(高木)



シラネコムギ(小船越)



シラネコムギ(榎崎)

表2 生育調査ほにおける生育ステージの予測

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月/日)			減数分裂期(月/日)			出穂期(月/日)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
シュンライ	新田 (桃生)	10/20	-8	-2	4/24	+1	+4	5/02	+4	+4
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/19	-14	-4	4/29	+2	+6	5/07	+2	+5
	真野 (石巻)	10/26	+7	+3	4/25	+1	+5	5/03	+5	+5
ホワイトファイバー	高木 (石巻)	10/20	/	/	4/21	/	/	4/29	/	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/01	-12	+8	5/05	-1	+4	5/14	+2	+4
	榎崎 (桃生)	10/26	-11	/	5/04	-2	/	5/14	+3	/

※ 播種日については確定日。減数分裂期以降については4月8日時点の幼穂長からの予測日。

※ 前年差, 平年差における+は遅れを示し, -は早まりを示す。

### 3 今後の管理

#### (1) 追肥

##### ① 減数分裂期追肥

◆ 幼穂長や止葉葉耳間長を確認し、**適期追肥**を心がけましょう(前号参照)。特に、この時期は幼穂長が1日で5mm程度伸びるので、**適期を逸さないよう**注意しましょう。

◆【大麦】追肥の遅れは硬質麦の原因となり、**品質低下**を招きます。**早めに作業を開始**しましょう。

表3 追肥の時期と施用量の目安

生育ステージ		減数分裂期	穂揃期 (8割以上が出穂)
追肥の目的		一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	追肥時期	4月中～5月上旬 (幼穂長20～30mm)	実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)	
小麦	追肥時期	5月上～中旬 (幼穂長20～50mm)	5月下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg) (尿素9～11kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) (尿素4.5～5.5kg) ※ 夏黄金は2倍量

※ 追肥時期は、本年の生育状況による見込。必ずほ場毎の幼穂長や葉耳間長を確認してから追肥を行うこと。



② 【小麦のみ】穂揃期追肥

◆ 出穂状況を確認し、適期追肥を心がけましょう。

(2) 排水対策：麦類は茎立ち以降、**湿害に弱くありません**

- ◆ 暗きよの水閘が閉じているほ場がないか、再点検しましょう。
- ◆ 明渠が崩れていないか確認し、必要に応じ手直しをしましょう。
- ◆ 大雨の後にはほ場を巡回して、排水溝に稲わらなどが詰まっていないか確認しましょう。

(3) 赤かび病防除

- ◆ 赤かび病防除は、**防除時期(特に1回目)が重要**です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、**降雨が続く場合や「夏黄金」**の場合は**3回の防除**が必要です。

**1回目：開花始期～開花期**

**2回目：1回目の7～10日後**

**(3回目：2回目の7～10日後)**

★ 開花始期～開花期の大まかな目安 ★

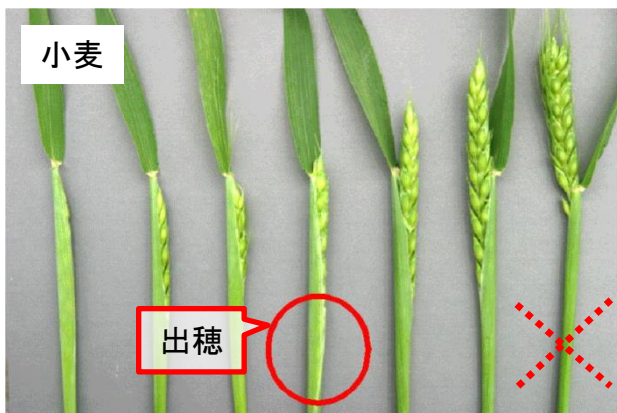
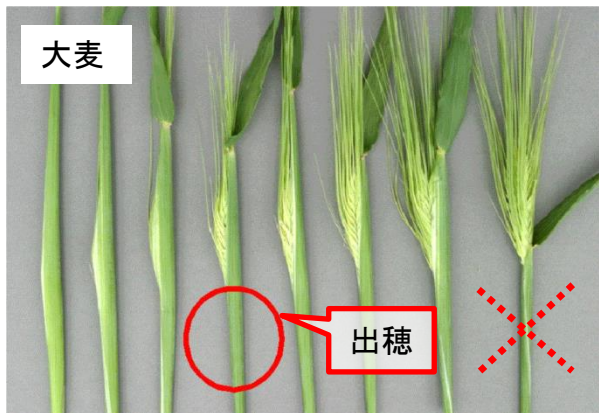
【大麦】出穂期後5～8日頃

【小麦】出穂期後10～13日頃

※ 出穂期の予想は、表2を参照願います。

**出穂期、穂揃期の判断**

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体**が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です！



- ★ ほ場の出穂期とは、全茎数の4～5割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
- ★ ほ場の穂揃期とは、全茎数の8～9割が出穂した(写真の丸印になった)日です。  
(穂揃期は、出穂期の1～2日後)

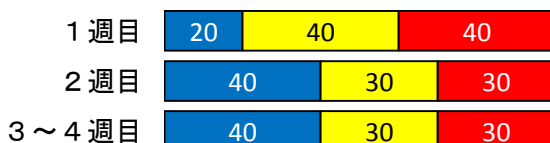
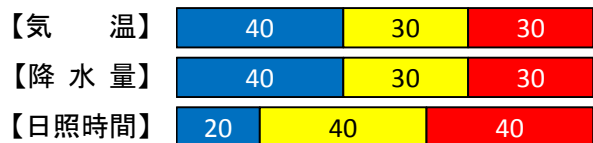
**1か月予報 (4/13～5/12)**

仙台管区气象台 4月11日発表

天気は数日の周期で変わりますが、**平年に比べ晴れの日が多い見込み**です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) □ 平年並 ■ 高い(多い)

■ 低い □ 平年並 ■ 高い